

珠洲物産フェア盛大に開催される！



そしてこれからは貴応援団や東京事務所、県人会、東京珠洲会の皆様方のご協力を仰ぎながら石川県や能登の情報発信を首都圏に更に広める様努力して参りたいと思っております。どうかよろしくお願い申し上げます。

(2ページにつづく)

早速であります私が私共珠洲商工会議所では、来る六月二十日、二十一日にかけて珠洲市の物産品フェアを、また八月三日、九日にかけて珠洲焼展示会を東京にて開催致します。詳細は後記のとおりですが私共にとつては念願の首都圏商店街での開催となります。何かと至らぬ事もあるかと思いますが、精一杯頑張る所存であります。どうか奥能登応援団の皆様にも是非ご来場賜りご支援頂きたくお願い申し上げます。今後とも出来れば首都圏で年間1〜2回程度定期的に開催する足がかりしたいと思います。

物産振興、またふるさと納税として首都圏における出身者への交流など格別のご高配を賜り、心から御礼と感謝を申し上げます。先日東京珠洲会総会の折にも大変お世話になりました。



珠洲商工会議所
会頭 今井 欽次

東京奥能登応援団の皆様にはますますご清栄の事と拝察致します。平素は当地の観光振興や



「東京奥能登応援団のホームページ」を開設いたしました。アドレスは <http://okunoto.net> です。

いっしょ

アイデンティティ ③

魅惑の奥能登っ子

Hikisuna Samnyomom

奥能登の生まれで、名は「引砂三右衛門」というおどけ者の魅力ある人がいた。もっとものつけからなら、実在したかどうか確かな証拠がない。その位牌だ、墓も残っていないとか：：になしろ、珠洲郡誌、上村史などにあれば、語られる所の我が出身となる。それもそのはずで、人気者であったとすれば世間話のなかで、次第にその所らしく新しい智慧が付き込まれ少すつふくらまされて、我が在所の者として語り継がれてきたのであろう。

それはともあれ、引砂三右衛門に登場願ったのは私がファンだからである。何故、あんな一種のベテナ師的で頓知とする賢い機転の騙し屋、愚人ぶりを自慢げに笑いにする奴を、寄りに寄ってと言ふ人もあろう。だが、三右衛門さんをなにしる好きなのである。こよなく愛しいのだ。三右衛門に出合ったのは、幼い頃隣の婆ちゃんが困り裏端で語ってくれたのが始まりである。とにかく、面白くて愉快でたまらなかった。幾度となくせがみ聴いたがその都度楽しく、口承だけではなく数少ない書承にも接した。

後年、あの笑いの創造者大分の吉四六話や熊本彦一話を知った時、奥能登の笑い創りの主と共有・共通する血脈を感じたのであった。我等の主は山形の佐兵や島根の彦八といった笑芸の達人にも伍している。

三右衛門話は、栗津、能登町、穴水町等：：と奥能登一辺に伝承され伝説のように語られてきた。所によってテイルを換え語り口が変わり、海のイカやクジラ話、山や里の狐、キジ、きり、縄、ぼた餅をめぐる機智に富んだ語りなどの悲喜劇はユーモアのある明朗で楽天的な生活を創り出している。

何といつても、京都、加賀の殿様、江戸は徳川屋敷にては庄巻である。京都の老舗先の軽妙な知恵、殿様の前で立ち居振舞い、天狗の隠れ蓑と徳川屋敷風品の丁々発止などは虚構であろうが、それなりの故に尚更面白い。虚構には本来現実を踏まえて現実を乗り越えようとするバイタリティーがあるからである。言わば愚かなふりをして悲惨な状況を内から笑い飛ばして生きなければならなかった奥能登庶民の願望が裏返しに形強く働いたのであらう。杓子定規の権力なるものを笑いでもって吹き飛ばす痛快極まりない笑いの中に、生活に付きまとう優越感・劣等感のしがらみを突き抜けて人間であることを発見する自由と平等と幸福な世界がある。(押上武文(府中市・宝立町出身))

北 国 新 聞 2009年(平成21年)

珠洲焼 東京で発信



珠洲商工会議所は珠洲焼を売り込むため、都内で展示会を開催
 珠洲市蛸島町の珠洲焼館

珠洲商工会議所は八月、ため、都内で展示会を開催
 首都圏で珠洲焼を売り込む。珠洲市狼煙町出身の

販路拡大へ会議所が展示会

日時：8月3日(月)～9日(日)
 開催時間 10:00～19:00
 場所：東京駅八重洲地下街 ギャラリー八重洲
 先着100名様に「珠洲の特産品」プレゼント!

岡崎洋児「プロジェクトグラフィック展」 坂本好二・市郎「珠洲焼展」

狼煙出身の洋画家 岡崎さんが会場提供

洋画家、岡崎洋児さんが開く個展の会場の一角を利用することが決まった。首都圏で珠洲焼を常設展示する場はなく、経費の問題から陶工が個展を開くことが難しい中、首都圏で広く珠洲焼をアピールできる場を提供する。

展示会が開かれるのは、東京・八重洲の「ギャラリー八重洲」。会期は八月四～九日までで、作品を展示できる広さを確認し、展示方法や作品数などを検討する。

珠洲商工会議所は二〇〇七(平成十九)年度、日常食器として珠洲焼の新分野開拓を目指すプロジェクトを展開した。飯茶碗などの新作展示会を珠洲市と金沢市など県内のほか、高岡や京都、大阪の各市で開催。東京ではバイヤーを対象にした見本市やギフトショーに出展した。

同会議所によると、珠洲焼の陶工が個展を開く場合、県内では金沢市、県外では奈良や大阪など関西が多く、首都圏での開催は高いコストがネックになっているという。

同会議所が都内で珠洲焼の展示場所を探したところ、会議所が発行する会報の表紙を手掛ける岡崎さんが毎年都内で個展を開いていたことが分かり、協力を打診。岡崎さんが快諾し、珠洲焼が展示できる運びとなった。



珠洲焼 12世紀後半から15世紀末にかけて珠洲地方で生産された中世を代表する焼き物。商圏は日本海沿岸を中心に日本列島の4分の1に拡大したが、15世紀後半に急速に衰えて廃絶した。粘土に含まれる鉄分が黒く発色するため、焼き上がった製品は黒っぽくなるのが特徴。

「すずろものがたり」(昭和33年2月発行から
 今は昔のなほ・ほそかわ秋堂 (その3)
 (炉端、焚き火にあたりつつ声を出して読んでくたさい)
 — 正院町川尻、新保貞吉氏談 —

そつそつこんな話してどうかと思うがやが「よばいこき」けの……。あねまのおる家の屋根のはふ(破風)からつと(伝)て入ったり、縁の金戸口からはこそぞいっただけ。ほやさかい熊猫みたいに顔も手もすすだらけの真つ黒にして、コッソリすこたなかぶりして這うとるかって、今考へて見りゃおかしいこつちやのけ……。

さあ大変見つかってがられるときあ、おろたへてしもてあんだどこへも逃げられんがになつたさへにあ、ほれけ茶の間や、台所のねかぎ(煮鍵)をすぐり上がってさしもんの上にかくれて、チンとしておるがやけ。今みたいに電燈もなし、警察もやましなし。ほれから、ほれで夫婦になるがも沢山あつたさかいに世の中あんまりむつかし云わんなだけの……。

夜さる中、遊んでも、あんだ、はや、夜の明けんうちから百姓したわけ……。ねぶとてねぶとて昼あ無我夢中に仕事して、夜さるになりやあ、又パツと目があくがやけ……。まああ一様いちがいにはいられんけど、こんな連中が智恵もあつたし働きもしたし甲斐性あるもんやつたのけ……。

はやあんだ十月末頃迄にどどん働いて家のことして、ほれから大阪へ冬働き「おとしべ」に出たわけ。出られんような奴は病どか、甲斐性なしが、両親がおらん家か、もたもたと家におつたら人に嘲笑われてしもうたわけ。

ほのころア飯田から蒸気につて、七尾から汽車にのつてほれから越前の今庄に必ず泊まったわけ。ほれから大阪に着くがやつたんけの。ほうやほや大阪なんばの駅の大通りでも自転車が二から三からしか見なんだのけ。「オーヤリくち(理屈)な……」「なんでかやらんがやる……」「ててみんな首かたげて見たもんやぞけ。人力車なら三十から五十から並んどつたがおぼえとるわけ……。

(次号につづく)



できごと

◆東京珠洲会総会開催される◆

去る5月24日午後、上野・池田屋において、約八〇人が集まり、「東京珠洲会総会」が開催された。谷克巳会長の挨拶で開会され、珠洲から参加した来賓の泉谷満寿裕市長が「大浜大豆、大納言小豆が珠洲のブランド」として好評であり、マグロの蓄養も始まり期待が大きい。5月の連休には、緑剛崎灯台の階段に列ができるなど観光客が増えている。里山里海の活動に補助金が交付され大きな事業になっている」などと地元の現況を紹介した。

参加者は能登弁で歓談し懇親を深め、特別参加のキン・グレコード歌手のササキホコさんの「能登の岬で」の熱唱を聞きながら、ふるさとの思いを馳せた。総会は幹事の田中重雄さんが中締めし、ふるさとの銘菓いもがしや珠洲の塩をお土産に、再会を約して散会となった。

●来賓ご紹介(敬称略)

泉谷満寿裕珠洲市長、塚崎康彦石川県議会議員
今井欽次珠洲商工会議所会頭、乙谷衛一同専務理事
藤野裕之同物産協会会長、大門康範宗玄酒造(株)
松原公慈石川県東京事務所長、西喬石川県人会事務局長



東京の行事

●能登半島の観光物産PR即売会●

- ◆ 7月4～5日、7月11～12日
- ◆ 品川区 戸越銀座商店街

●第3回首都圏石川交流会●

- ◆ 7月26日(日) 12:00～(2時間位)
- ◆ グランドプリンスホテル赤坂クリスタル
- 交通の便 地下鉄 永田町・赤坂見附
- ◆ 会費 五千元
- ◆ 主催 石川県・交流推進委員会
- ◆ 内容 知事らの県政報告及び懇親会形式での交流、抽選会、ふるさと物産販売
- ◆ 問い合わせ 首都圏いしかわ交流推進委員会事務局 (石川県観光交流局交流政策課) 07-6265-1127

参加を希望される方7月3日までに当応援団に

●第2回「いしかわ県人祭in東京」●

- ◆ 10月30日(金) 夕
- ◆ 場所 椿山荘 プラザ5F「オリオン」
- ◆ 東京都文京区関口2-10-8 (03-3943-1171)
- ◆ 会費 男性：一万円、女性：七千円、学生：五千円
- ◆ 主催 「いしかわ県人祭」東京実行委員会
- ◆ お問い合わせ事務局：北國新聞社東京支社内
- ◆ 電話 (03) 3541-7221 (土日祝の夕午前6時半～午後9時半)
- ◆ 催し
 - 懇親パーティー (地元食材を使った料理や地酒などが楽しめます)
 - アトラクション (郷土芸能、歌謡ショーなど盛り沢山です)
 - お楽しみ抽選会 (石川の名産品など豪華賞品が当たります)
 - いしかわ物産市 (ふるさとの物産がずらりと並びます)

●ふるさとの行事(夏・秋)

7月3日～4日	あばれ祭り 能登町宇出津	
7月20日～21日(月祝・火)	お涼みまつり(燈籠山まつり)	飯田町
7月25日(土)	能登半島先端の灯	狼煙町
7月25日(土)	蔵コンサート	狼煙町
7月25日(土)	人形きりこ祭り	能登町松波
7月27日(月)	恋路の火祭り	能登町松波
8月1日(土)	ちよんがりまつり(珠洲まつり)	飯田町
8月7日(金)	宝立七タまつり(珠洲まつり)	宝立町
8月13日(木)	砂取り節まつり(珠洲まつり)	馬線町
8月16日(日)	飯田高校同窓会総会	飯田町
8月16日(日)	リフレッシュ村鉢ヶ崎・踊りと太鼓の夕べ	蛸島町
8月22日(土)	23日(日) トライアスロン珠洲大会	珠洲市一円
9月中	秋祭り(きりこ祭など)	珠洲市一円
10月3日(土)	越中おはら節飯田風の盆	飯田町
10月3日(土)	岬自然歩道歩こう会	狼煙町

飯田高校同窓会総会

- ◆ 8月16日(日) 昼 飯田町・珠洲商工会議所会館
- ◆ 会費 五千元
- ◆ お盆の帰省者の参加大歓迎!
- ◆ お問い合わせ先：飯田高等学校
- ◆ 電話 0768-821-0693

北國新聞創刊一五五年記念

われに千里の思いあり 上 風寛亮・前田利常

中村 彰彦 著

権謀術数うずまく戦国の世を生き延び、百万石をかかえるにいたった前田家の藩主・前田利常、光高、綱紀の三代を描く長編歴史小説
定価1,800円

歌集 山村日日

奥 好雄 著

定価500円 刊行 珠洲ロータリークラブ
(注文・照会 TEL 0768-821-5050)

珠洲市若山在住の農民歌人、奥能登の四季の風景や生活を歌う

文芸春秋 刊

頑張る奥能登人

東京でキリコ祭りなど能登の祭りをやろうと準備している
『お祭り野郎』をご紹介します。

● **八木 淳成さん** (珠洲市へ飯田町出身)
あつなり
昭和四十六年生まれ

平成七年(1995)東京デザイナーズ学院(建築科)

卒業後オーストラリアへ語学留学 帰国後就職。

転職の際都内飲食店勤務。

平成十五年池袋にて石焼炙焼

「祭一番」TOKYOオープン

・店舗ホームページ

<http://www.toshima.ne.jp/matsuri/chiban.html>

● **趣味 お祭り見物**

・趣味で製作した飯田燈籠山祭りのホームページ

<http://www.toshima.ne.jp/matsuri/index.html>

・近況報告はブログで

<http://blogs.yahoo.co.jp/matsuriichibanjp>

● **お祭り仲間大募集!**

自分を育ててくれた故郷の空・土・風・水・そして人、
かけがえのないものです。少しでもそんな思いを今

いる東京で、多くの方々と共有できればと「東京で能登の祭りをやるつ会」を発足致しました。ご意見を頂きながら、東京でキリコを担いだり、祭り太鼓を披露したりと催しが出来ればと思っています。

毎月第一日曜日正午より祭一番にて太鼓練習会を開催いたしております。多くの方々のご参加を心からお待ちしております。

● **お問い合わせ先**

TEL 00000000

豊島区南池袋2-4-4 マンション 池袋106

祭一番 八木淳成 03-6969-8008

URL <http://www.toshima.ne.jp/matsuri/kiriko.html>



事務局から

8月の飯田高校同窓会に当応援団の事務局長(光眞)が講演者として招請されました。劣等生を自認していただけに、大変名誉なこととお受けしました。

東京のふるさと振興応援活動などを紹介しながら「飯高健児の意気たかし!」の心意気が伝えられれば、と思っています。

7月18日(土)「東京で能登の祭りやろう会」初行事

P4:00-上野 夏祭りパレード 輪島の同好会とキリコも出します!

北 國 新 聞

2009年(平成21年)5月2日(土曜日)

県内総合 (26)

能登の祭り 魅力PR



東京でキリコを披露する
輪島市や能登町などの出
ることを計画しているの
身約二十人が集まった。
は「東京でキリコを担ご
うの会」(仮称)。東京
・南池袋で居酒屋を経営
する八木淳成さん(三三)
珠洲市出身「らが呼び掛
け、首都圏で暮らす珠洲
・南池袋で居酒屋を経営
する八木淳成さん(三三)
珠洲市出身「らが呼び掛
け、首都圏で暮らす珠洲

首都圏在住の有志準備

キリコを集められなけれ
ば、自主制作すること
を検討している。

六月からは毎週日曜に
八木さんの居酒屋に集ま
り、キリコの練り歩きを
盛り上げる太鼓を練習す
る。

同会によると、進学や
就職で東京に生活の場を
移すと、なかなか能登に
帰れない人も多い。東京
でのキリコ披露は能登の
観光PRに加え、同郷者
が一緒にキリコを担ぐこ
とで、心のよりどころに
してもう目的もある。

八木さんは「キリコを
見た東京の人たちが、本
場のキリコを見るために
能登を訪れてほしい」と
話した。

あはれ祭で乱舞するキリ
コ。首都圏在住の能登出
身者が東京でキリコを披露
する準備を進めている。

昨年7月、能登町役場前

能登各地の祭りの主役であるキリコの魅力を東京の人たちに知ってもらおうと、首都圏在住の能登出身者が、キリコや担ぎ手を募集するホームページを開設するなど準備を進めている。都内で開催されるイベントでキリコを担いで勇壮に練り歩き、ふるさと能登の文化をアピールするのが目的で、六月から太鼓の練習を始める。

東京でキリコ
舞えで